

1868 (明治 1) 年

◆社会：明治維新。

1869 (明治 2) 年

◆社会：開成学校授業開始(5/8)。スエズ運河正式開通(11/17)。  
アメリカ大陸横断鉄道完成(5/18)。

1870 (明治 3) 年

◆社会：初等教育法案、公立学校設置・私立学校への援助増額、  
伴リ議会議会通過(3/9)。

◇テニス：(テニスボールにインゴム使用。(テニス技術百科 S63 刊))

1871 (明治 4) 年

◆社会：廃藩置県(/)を経て明治政府成立。ドイツ帝国成立(1/18)。

1872 (明治 5) 年

◆社会：学制頒布(9/5)。

1873 (明治 6) 年

◆社会：師範学校・付属小学校授業開始(4/ )。  
第1国立銀行設立(6/1)。

1874 (明治 7) 年

◆社会：東京警視庁を置き、内務省に所属(1/15)。

◇テニス：英国ウィングフィールド少佐が、「ローンテニス」というスポーツを  
特許申請、初めてローンテニスを始める(2/23)。

(テニス技術百科 S63 刊)

◆本学：新島 襄—日本脱国以来10年を経て—帰国(11/ )。

1875 (明治 8) 年

◆社会：東京気象台設立(6/1)。

◇テニス：(裸コムボールにフェルトを被せる。(テニス技術百科 S63 刊))  
ウィングフィールド(英国)により、ローンテニスの統一規則が提案され、  
近代的ルールが制定(2/23)。

ローンテニス、米国に伝える(5/24~5/27)。

ステート島(米)クリケット野球クラブに最初のテニスコート設置。

◆本学：新島 襄—同志社英学校創設(普通科・神学科)

(薩摩藩邸跡)(11/29)。

(創設期) 球投げ合戦(八重の発案、海老名先頭を切る)

(校友会同窓会報(創立60年記念誌) S12 発刊)

1876 (明治 9) 年

◆社会：東京女子師範学校内に幼稚園を開設(最初の近代幼稚園)、  
16日保育開始(11/14)。

札幌農学校開校(クラーク博士)(8/14)。

◇テニス：横浜外人居留地に、テニスを伝える(/)。

◆本学：同志社発展の基礎—熊本バンドの30名入学—(秋)。

1877 (明治10) 年

◆社会：東京開成学校と東京医大が合併、東京大学となる(4/12)。

◇テニス：第1回全英テニス選手権(ウィングフィールド大会)始まる(7/9~)。

1878 (明治11) 年

◆社会：郡区町村編制法を定める(7/22)。

◇SPT：明治政府 体操伝習所開設(/)。

◇テニス：横浜の山手公園に外人女性専用のテニスコート開設。

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

◆本学：アモスト大学卒業医師兼体育指導者 G. A. リーランド 来日(7/ )。

『体操伝習所』の教官となりローンテニスを紹介(通訳—坪井)。

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

—日本人に適するスポーツとして、テニスの指導を始める。

テニスが体育として取り上げられた、日本で最初の学校と思われる。

1879 (明治12) 年

◆社会：万国電信条約に加盟(1/29)。

◇テニス：第1回アマチュアテニス選手権(/~)。

◆本学：同志社第1回卒業式(6/12)。

「体操は放課後に球を打ち手雌雄を決することを除く外各生の  
任意に任すという」(9/)。『同志社視察之記』の女学校の項に、  
「スタークウェル又体操に用いる具を示す是ローンテニスと称するものにて  
綱に張りて云々」という、ローンテニスの記述あり(9/ )。

(京都府学務課同志社視察の記 第3回(百年史より)。

写真(テニスカットを持つ女子生徒など)。

1880 (明治13) 年

◆社会：刑法・治罪法布告(7/17)。

◇テニス：米国最初のオープンテニスナメント(ステート島)行う(9/ )。

1881 (明治14) 年

◆社会：中学校教則大綱定める(7/29)。

◇テニス：全米テニス選手権(ニュージャージー)始まる。

ドイツで初めてのテニスクラブ設置。

1882 (明治15) 年

◆社会：人口3,670万人(1/1)。日本銀行条例定める(8/5)。

戒厳令定める(8/5)。徴発令定める(8/12)。

1883 (明治16) 年

◆社会：叙勲条例定める(1/4)。大阪紡績会社(7/5)。

◇テニス：ステート島(米)女性の為のテニスナメント開催(/)。

1884 (明治17) 年

◆社会：地租条例定める(3/15)。

◇テニス：全英テニス選手権(ウィングフィールド大会)(女子の部)始まる(/~)。

(日本文化交渉史 4 S30 発刊)

◆本学：『体操伝習所』は、高等師範学校に併合。

—テニスのメッカとなり、卒業生が教員で赴任、3府42県に広がる。

旗争い合戦、水合戦(新島もする)を運動会ではじめる。

(校友会同窓会報(創立60年記念誌) S12 発刊)

1885 (明治18) 年

◆社会：第1回官移の移民(ハワイ向け)横浜出港(1/27)。

専売特許条例定める(4/18)。

第1回伊藤博文内閣(12/22)

1886 (明治19) 年

◆社会：帝国大学令(3/2)、師範学校令・小学校令・中学校令(4/10)、  
各公布(学校制度の基礎が固まる)。

◇テニス：ジャゼビポート島(仏)に、テニスクラブ設立(4/30)。

1887 (明治20) 年

◆社会：所得税法公布(3/23)実施(7/1)。

◇テニス：ハセン初の全米女子テニスチャンピオンとなる(/)。

1888 (明治21) 年

◆社会：市制・町村制・各公布(4/25)。

◇テニス：ローンテニス連盟設立(英国)(4/25)。

◆本学：同志社学院(神学部・普通学部・予備学部)と改制(6/)。  
「体操：凡て生徒は毎週4日間毎日1時間兵式体操若しくは、適宜の体操をなすべし」とあり1学年から5学年迄必修。(新島全集)(同志社学院(予備学部・普通学部・神学部)規則(M21年6月改正))  
坪井玄道が高等師範生徒にテニス教授。(明治文化史10 S30刊)

1889(明治22)年

◆社会：大日本帝国憲法発布(2/11)。土地収用法公布(7/31)。

◆本学：(神学校・普通学・予備学校)と改称(/)。  
ラグビーをハレット教授が伝授(蹴球の時代)(/)。  
(校友会同窓会報(創立60年記念誌)S12 発刊)

1890(明治23)年

◆社会：府県制・郡制・各公布(5/17)。第1回総選挙(7/1)。  
◇テニス：東京高等師範学校の要請で日本最初のゴム会社(三田土ゴム)テニス用ゴムボールM印一の製造に成功し、軟球を開発。  
以降日本独自の軟球が普及。  
(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

ストックホルム(スウェーデン)ローンテニス連盟設立(/)。  
◆本学：端艇競漕大会(疎水工事竣工と共に大津でM24. 4月 第1回 水上大運動会開催)(M23. / ~M24. /)。  
(校友会同窓会報(創立60年記念誌)S12 発刊)

1891(明治24)年

◆社会：郡制(5/17)・府県制(7/1)施行開始。大津事件(5/11)。

◇テニス：全仏テニス選手権始まる。  
◆本学：野球部創部(紫宸殿の東側の芝生で練習)(M24. / ~M25. /)。(同志社50年史S5/7刊)

1892(明治25)年

◆社会：京都市営水力発電所開業(6/4)。  
◇テニス：東京ローンテニスクラブ開設(権山愛輔ほかの尽力)(/)。  
◆本学：「体育 各学校において定規の体操科を置くの外 各々自由の運動をナスの余地を残し十分の運動をなさしむ且つ毎土曜日1日を休み専ら体育のために遠足をなし山河を跋涉し英気を養はしむ」。当時の体育教員は谷口子金吾。  
(同志社各学校入学者心得(M25. 6. 1. 改正)新島全集より)

1893(明治26)年

◆社会：出版法・著作権法公布(4/14)。

1894(明治27)年

◆社会：日清戦争(8/1~)。

1895(明治28)年

◆社会：平安遷都1100年(3/15)。日清講和条約調印(4/17)。

1896(明治29)年

◆社会：移民保護法・河川法公布(4/8)。  
◇SPT：第1回アテネ五輪(4/6~4/14)。  
◆本学：普通学部が高等普通学部と中学校に分かれる。  
高等師範 対 高等商業 第1回庭球大会(/)。  
(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

1897(明治30)年

◆社会：貨幣法公布(金本位制の成立)(3/29)。森林法公布(4/12)。  
京都帝國大学設立(東京帝國大学と改称)(6/22)。

◆本学：琵琶湖連合大競漕大会で慶応に勝。  
(校友会同窓会報(創立60年記念誌)S12 刊)

◇本学テニス：安部磯雄(中学教頭時代~M32)神学館東側コートでテニスし、クラブを組織し盛況(安部94年迄4年間米国ハートフォード神学校留学中庭球に熟申し学内4位にランク)。しかし安部は東京専門学校(早稲田)へ移籍。その後停滞。

(校友会同窓会報(創立60年記念誌)S12 発刊)  
(同志社50年史(S5刊)安部磯雄の体育(秦))

1898(明治31)年

◆社会：戊戌政変(西太后実権握る)(9/21)。  
台湾公学校令公布(7/28)。

1899(明治32)年

◆社会：北清戦争(義和団の乱)(3/)。  
実業学校令(2/7)、高等女学校令(2/8)、私立学校令(8/3)。  
◆本学：琵琶湖連合大競漕大会で優勝。  
(校友会同窓会報(創立60年記念誌)S12 発刊)

1900(明治33)年

◆社会：日本楽器(ヤマハピアノ)を製造開始(3/)。  
電信法公布(政府掌握の明確化)(3/14)。  
◇SPT：第2回パリ五輪(7/14~7/22)。  
◇テニス：デビスカップ大会始まる。(英米対抗戦デビス銀杯寄付)。  
東京ローンテニス倶楽部設立(/)。

1901(明治34)年

◆社会：第1回ノーベル賞(12/10)。  
◇テニス：慶応義塾庭球部創設(/)。  
(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

1902(明治35)年

◆社会：日英同盟調印(1/30)。  
◇テニス：ドイツテニス連盟設立(/)。  
慶応対東京高師対抗戦(以降一早大、学習院参加)

1903(明治36)年

◆社会：専門学校令公布(3/36)。  
◇SPT：大リーグ第1回ワールドシリーズ開幕(10/1~)。  
◆本学：ロバート教授(同志社エール)考案。  
(同志社50年史S5/7刊)

1904(明治37)年

◆社会：日露戦争(2/4~)。  
◇SPT：国際サッカー連盟発足(5/21)。  
第3回セントルイス五輪(8/29~9/20)  
◇テニス：デビスカップ大会にフランス・ベルギー参加(/)。  
高等商業学校主催 京都府下各学校連合庭球大会開催(/)。  
最初の軟式庭球規則できる。  
(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)  
◆本学：専門学校令による神学校と専門学校に改制。  
(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)  
(運動部予算)端艇部・野球部・柔道部・銃剣部・庭球部・フットボール部  
(M37. 10/ ) 15円 21.5円 21円 20円 4円 7円  
(同志社50年史S5刊)

1905(明治38)年

- ◆社会：日本海海戦(5/27)。
- ◇テニス：全豪テニス選手権が始まる。
- ◆本学：同志社運動部規則制定。(同志社新聞3号-M38 発刊)  
銃剣部・柔道部・ボート部・野球部・フットボール部・庭球部  
会員は教職員と各学校の学生。(同志社新聞3号-M38 発刊)  
役員-会長、副会長、幹事、監督、会計、部長、委員を置く。  
体育の為に利用する土曜日休業は通学生激増と体育利用激減により廃止となる。(同志社50年史S 5/ 7 刊)
- ◇本学テニス：◎【同志社大学庭球部一創部年一とする。】

1906 (明治39) 年

- ◆社会：東北地方大飢饉(3/ )。鉄道国有法公布(3/31)
- ◇SPT：特別オリンピック競技記念大会(4/22~5/2 アテネ)
- ◆本学：相撲部創部。(校友会同窓会報(創立60年記念誌)S12 刊)  
運動大会開催。(野球・庭球・フットボール・ボート)  
(同志社時報20号-M39/ 5 発刊)  
彰栄館北運動場拡張工事完成-秋季大運動会開催(9/ ~10/ )。  
(同志社時報25号 M39/10 刊)
- ◇本学テニス：庭球部大会(神学館横手運動場で開催)-参加80余名  
(会長丹羽校長、副会長宇野中佐、幹事後藤昇造、監督飯塚教師)  
紅白合戦で青年組、幼年組に分ける。(同志社時報20号 M39 刊)  
庭球部対外試合-京都商業学校、染色学校に大勝(6/ )。  
(同志社時報21号 M39/ 6 刊)  
庭球部-秋季大会-参加100名(10/ ) (同志社時報25号 M39/10 刊)  
庭球部-対 真宗中学-惜敗(11/ ) (同志社時報26号 M39/11 刊)  
庭球部-早稲田大学庭球部選手14名-関西遠征-本学訪問-宿泊  
-試験中につき試合せず(12/ ) (同志社時報27号 M39/12 刊)

1907 (明治40) 年

- ◆社会：国産自動車第1号『タリ-号』完成(4/ )。  
山手線電車運転開始。高等女子次第に普及。  
三田ゴムで、ゴム靴を初めて製造。労働争議急増。  
文学における、自然主義論さかんになる。
- ◇本学テニス：庭球部-大阪連合 対 早稲田(大阪中ノ島公園)観戦し  
早稲田との対戦を帰する(1/ )。(同志社時報28号 M40/1 刊)  
庭球部(当時5箇所コート)は西寮(親父組-相澤、内田先生等)  
対 北寮(子供組(中学)-周、藪下など)を開催するほど盛況(5/ )。  
(同志社時報33号 M40/6 刊)

1908 (明治41) 年

- ◆社会：大阪市電運転開始(8/1)。
- ◇SPT：第4回 ロンドン五輪(7/13~7/25)。
- ◇テニス：大毎主催-第1回全国中学庭球大会(浜寺)開催。  
この頃から「世界を考えて軟式から硬式へ」の声高まる。  
(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)
- ◇本学テニス：庭球部大会開催(同部一時休眠状態神学館東は  
人絶えたり)、しかし新監督を迎え隆盛の兆し。  
新進選手4名入部し対抗戦を企画(5/ )。  
(同志社時報44号 M41/5 刊)  
庭球部6-5 京都商業高校 勝つ(神学館東コート)  
大将の玉井・明田組大活躍(6/ )。(同志社時報45号 M41/6 刊)  
庭球部-岐阜中、東寺中、真宗中と対戦し、玉井・明田・河内・  
片桐・西村・和田など活躍し、3勝する(10/ )。  
(同志社時報50号 M41/12 刊)

1909 (明治42) 年

- ◆社会：鹿児島線(門司~鹿児島)全通(11/21)。
- ◇テニス：神戸高商の清水善三、慶応の熊谷一弥-軟式で活躍(写真)。

- ◇本学テニス：同志社普通学校生徒の庭球カナル写真残存(写真)。  
(会沢清五郎教師、明田重義、玉井辰三郎など)(M42~M43)。  
庭球部4-5 花園学院 敗戦。(同志社時報59号 M42/10 刊)  
庭球部大会開催(新コート)。学内参加百数十名。京都の各学校より  
選手招待。学内大会終了後各学校と対抗戦をし、染織、一中、  
師範に勝。花園、商業、医専、仏大、三高に負。  
(同志社時報60号 M42/11 刊)

1910 (明治43) 年

- ◆社会：韓国併合に関する日韓条約調印(8/22)。
- ◇本学テニス：庭球部は名古屋に遠征。第八高等学校・愛知中学と  
対戦し(西村・明田組勝、和田・ト部組負)惜敗(5/28・29)。  
大阪遠征し大阪商業に大勝(6/5)。(同志社時報67号 M43/6 刊)  
庭球部は市立第一商業に惜敗(11/ ) (同志社時報71号 M43/11 刊)  
庭球部は関学に大敗(観戦記者は今年は大商大に勝ったものの  
関学、花園、第一商業に敗退し、前途憂慮き記す)(12/ )。  
(同志社時報73号 M44/1 刊)

1911 (明治44) 年

- ◆社会：日本の人口5200万人。中国-辛亥革命勃発(10/10)。  
大学高専卒業者の無就業増加。  
米国フォード自動車の大量生産開始。  
この頃、レコード・蓄音機次第に普及。
- ◇SPT：大日本体育協会発足。ルビ少佐新潟でスキー伝授。  
アムゼン南極点到達。
- ◇テニス：第1回【全国高専庭球大会】(京都帝大)。
- ◇本学テニス：

1912 (明治45・大正1) 年 -明治天皇崩御(7/29) -

- ◆社会：タイタニック号大西洋で沈没(4/14)。  
米価騰貴-下層民生活困窮。自動車登録台数521台。
- ◇SPT：第5回ストックホルム五輪(7/6~7/14) -日本初参加。
- ◆本学：専門学校令による同志社大学に改正。  
(同志社時報 号 M45/ 刊)  
大学発足に伴い大学野球部創部。  
(校友会同窓会報(創立60年記念誌)S12 発刊)  
蹴球にラグビー-式を正式採用。(慶応、三高に次ぐ)  
(校友会同窓会報(創立60年記念誌)S12 発刊)
- ◇本学テニス：庭球部-明治大学遠征軍と対戦。  
夏季休暇中は明石で練習。(同志社時報 号 M45/ 刊)  
庭球部4-2 花園学院に勝利(10/ )。(同志社時報92号 T1/10 刊)